

事業所名

grand-mere adorer

支援プログラム

作成日

2024年

11月

27日

法人（事業所）理念	・子どもたちがその子らしさを発揮し、自己肯定感を持って安心して社会に飛び立っていけるような準備をする場、家族以外のもう一つのホッとできる場の提供を行う。					
支援方針	・一人ひとりをしっかりと見つめ、能動的な発信や行動を待ちながら、その子にあった専門性の高い支援を提供する。 ・ご家族の先の見えない不安や行き場のない思いに寄り添い、支えていく。 ・家庭や地域、教育機関等、その子を取り巻く全ての環境との連携を図る。					
営業時間	学校等開校日	10時00分から	19時00分まで	送迎実施の有無	あり	なし
	学校等休校日	9時00分から	18時00分まで			
支援内容						
本人支援	健康・生活	・子どもの心身の状態をきめ細やかに確認し、その子に合った健康な心と身体を育て、健康で安全な生活を作り出す。 ・基本的な生活習慣（睡眠、食事、排泄等）を形成し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につける。 ・衣類の脱着や身の回りの衛生管理等、生活に必要な基本的スキルを獲得できるよう、構造化等の環境構成の工夫を行う。				
	運動・感覚	・姿勢保持や上肢下肢の運動など、日常生活に必要な基本動作の習得や維持、定着を図る。必要に応じて、装具等の補助用具等の活用も行う。 ・様々な活動を通して、視覚や聴覚、触覚、嗅覚などの感覚を十分に活用できるようにしていく。必要に応じて眼鏡や補聴器等の補助用具等の活用も行う。				
	認知・行動	・子どもの認知特性に合わせながら、環境構成をしたり支援ツールを用いたりして、認知機能の発達を促す。 ・様々な刺激や情報を処理し、場面に合った判断や行動につなげる。また、生活の中で見通しを立てて行動できるための方法を伝えていく。				
	言語コミュニケーション	・言語や表情、ジェスチャー、安心できる環境の中でやり取りを行い、意思の表出や受容につなげ、コミュニケーションスキル等を身につける。 ・必要に応じて、絵カードやICT機器等を活用し、円滑なコミュニケーションにつなげる。				
	人間関係社会性	・子どもの状態に合わせて環境を整えながら、安心できる関わりを保ち、他者に対する安心感や信頼感を育む。 ・個別あるいは小集団での様々な活動を通して、ルールやマナーなど場面に応じた言葉の使い方や振る舞い方を身につける。				
家族支援	・子どもの状態や家庭環境に応じて家族の負担を軽減するため、日常生活での様子を聞き取り、現在の発達状況や特性の理解を促すとともに、その子に合った関わり方の提案等を行う。			移行支援	・子どもや家族の意思を確かめながら、移行先を含む関係機関等と情報を共有し、その子に合った環境づくりの協力をを行う。	
地域支援・地域連携	・子どもに関わる情報を関係機関と連携しながら共有し、その子や家族および関わりのある方々にとって、より有益な支援に繋げていく。			職員の質の向上	・外部および内部研修や日々の業務の中でのOJT等を活用しながら、発達特性や社会福祉制度に関わる知識や対人援助スキルを高めていく。	
主な行事等	・各種インクルーシブイベント（木工、陶芸、絵画、ヨガ、ダンス、ドラムサークル、ユニバーサルコンサート）、茶道教室、茶話会、保護者懇談会 等					